

2021/10/20

介護従事者の処遇状況について(月給・常勤の者)2021年度版

結果の概要

本記事は、2020年11月10日に公開した「介護従事者の処遇状況について(月給・常勤の者)」という記事に最新の情報と新たな図表を加えたものである。

介護従事者(介護職員処遇改善加算(Ⅰ)～(Ⅴ)の届出をしている事業所における月給・常勤の者)の平均給与額の増加傾向は、昨年度記事時点から変わらず続いていることがわかった。

また、そのなかでも特に、介護職員および生活相談員・支援相談員の平均給与額の増加率が著しく高くなっていた。

調査概要

- 調査名: 介護従事者の処遇状況について(月給・常勤の者)2021年度版
- 出典: 厚生労働省「介護従事者処遇状況等調査」(平成27年～令和2年)

調査詳細

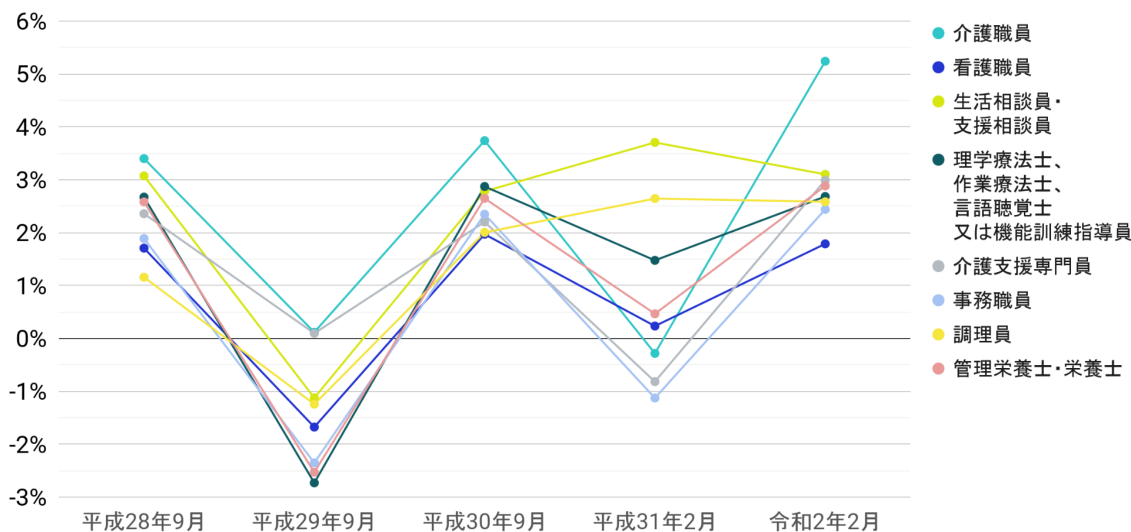
1. 介護職員処遇改善加算(Ⅰ)～(Ⅴ)の届出をおこなっている事業所では、平成27年9月から令和2年2月にかけて、どの職種・資格においても、平均給与額は増加傾向にある。

	平成27年9月	平成28年9月	平成29年9月	平成30年9月	平成31年2月	令和2年2月	伸長率(4年5月間)
介護職員	280,250	289,780	290,120	300,970	300,120	315,850	112.7%
介護福祉士(介護職員内訳)	294,550	302,550	304,630	313,920	313,590	329,250	111.8%
実務者研修(介護職員内訳)	278,750	285,310	280,400	288,060	288,890	303,230	108.8%
介護職員初任者研修(介護職員内訳)	264,300	273,970	273,920	285,610	285,800	301,210	114.0%
保有資格なし(介護職員内訳)	243,890	255,220	252,490	261,600	264,800	275,920	113.1%
看護職員	364,870	371,100	364,880	372,070	372,940	379,610	104.0%
生活相談員・支援相談員	306,520	315,940	312,390	321,080	332,980	343,310	112.0%
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士又は機能訓練指導員	334,940	343,890	334,500	344,110	349,190	358,560	107.1%
介護支援専門員	334,550	342,440	342,770	350,320	347,460	357,850	107.0%
事務職員	301,650	307,350	300,120	307,170	303,710	311,120	103.1%
調理員	249,700	252,590	249,450	254,450	261,180	267,930	107.3%
管理栄養士・栄養士	301,340	309,120	301,300	309,280	310,720	319,680	106.1%

2. 1.の推移につき、職種に着目して対前回調査増加率を見ると、「生活相談員・支援相談員」「調理員」を除いて、W字を描くように推移していた。また、この期間において常に増加している職種は存在しなかった。

介護従事者の平均給与額の対前回調査増加率の推移（職種別）

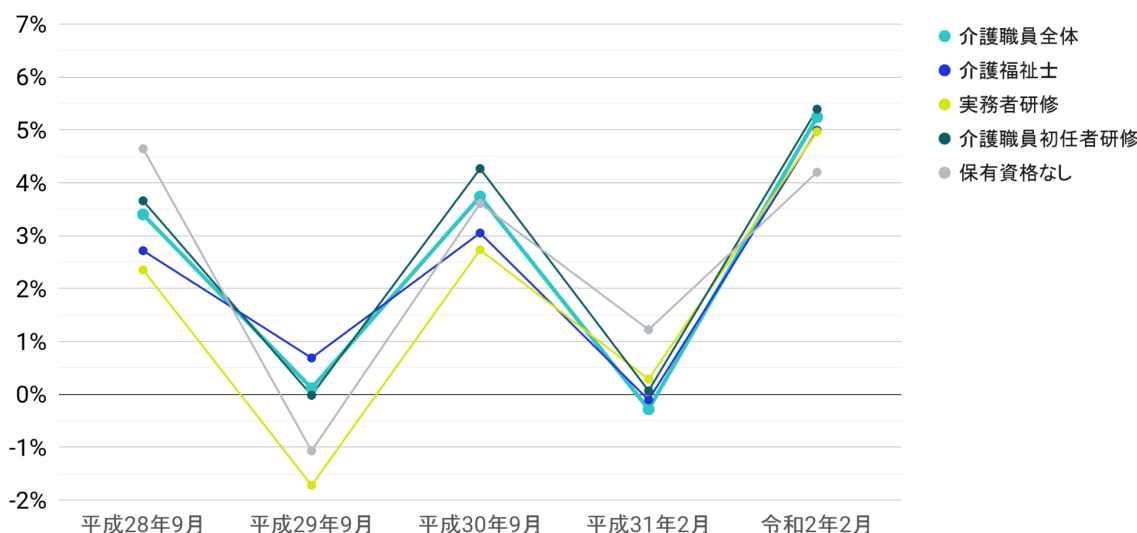
月給・常勤の者／介護職員処遇改善加算（Ⅰ）～（Ⅴ）を取得



3. 2.のグラフにおいて介護職員に着目して保有資格別内訳を見ると、2.と同様にW字の傾向が見られた。また同様に、この期間において常に増加しているカテゴリーは存在しなかった。このグラフの特徴として、平成31年2月調査時点および令和2年2月調査時点での対前回調査増加率において、「保有資格なし」以外のカテゴリーがほぼ同じ値をとっているという点を挙げられる。

介護従事者の平均給与額の対前回調査増加率の推移（介護職員保有資格別内訳）

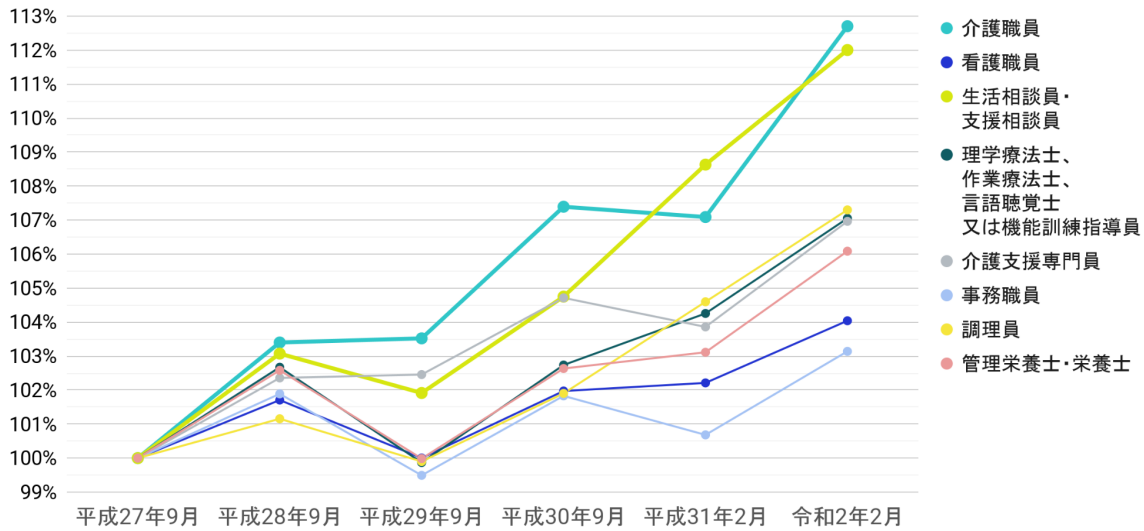
月給・常勤の者／介護職員処遇改善加算（Ⅰ）～（Ⅴ）を取得



4. 1.の推移を、職種に着目して平成27年9月時点を100%として変化の割合を見ると、「介護職員」「生活相談員・支援相談員」の増加率が著しいことがわかる。

介護従事者の平均給与額の対前回調査増加率の推移（職種別）

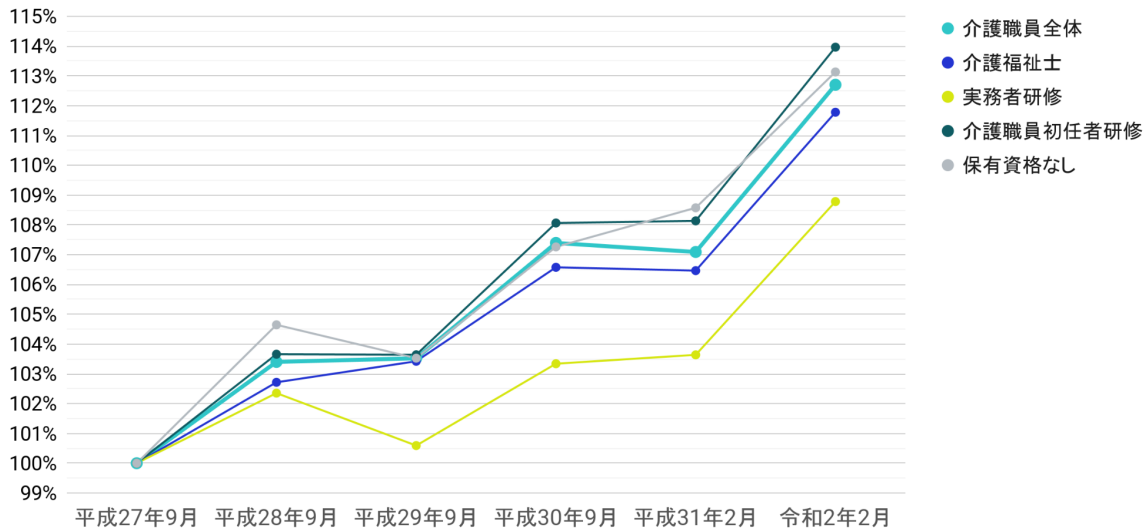
月給・常勤の者／介護職員処遇改善加算（Ⅰ）～（Ⅴ）を取得



5. 4.のグラフにおいて介護職員に着目して保有資格別内訳を見ると、「実務者研修」の増加率が低いことがわかる。

介護従事者の平均給与額の対前回調査増加率の推移（介護職員の保有資格別内訳）

月給・常勤の者／介護職員処遇改善加算（Ⅰ）～（Ⅴ）を取得





研究員

安齋 耀太

東京大学大学院博士課程 単位取得後満期退学。日本学術振興会 特別研究員（DC1）、Martin-Luther-Universität Halle-Wittenberg 客員研究員、神奈川工科大学および神奈川社会福祉専門学校 非常勤講師を歴任。2021年エス・エム・エスに入社。介護事業者向け事業の経営企画に携わりながら、高齢社会に関する統計調査の設計・実行・分析・発信に従事。社会調査士。